

## 平成 24 年度日本人間工学会優秀研究発表奨励賞の受賞者が決まりました!

年次大会において優れた研究成果を発表した若手研究者を表彰する表彰制度である「日本人間工学会優秀研究発表奨励賞」の審査が、本年 6 月に開催されました第 53 回大会(九州大学)において行われました。今回は 18 名の方から応募があり、研究内容および発表に対する厳正なる審査が行われました結果、今年度の受賞者は以下の 5 名に決まりました。

最優秀賞	高橋元哉	人の内発的動機づけの評価に対する生理心理学的アプローチ — 興味における「適度なずれ」の同定 — (2C2-3)
優秀賞	本井 碧	乗用車のドア開音におけるプライミング効果が印象評価及び事象 関連電位に与える影響 (1C4-1)
優秀賞	三枝 竜	電子書籍リーダー用の日本語フォントの読みやすさの比較評価 (2E1-3)
優秀賞	池田 誠	孤立語における視覚探索誘導に関する研究 (1D1-4)
優秀賞	菅間 敦	ウェーブレット変換によるプッシュスイッチ操作力のパターン抽 出 (2F3-3)

審査では次世代の人間工学研究者育成のために、多くの先生方にボランティアでご参加頂きました。審査にご協力頂きました先生方に、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。なお応募された研究発表は総じて高い評価結果が得られましたことも併せてお知らせいたします。今回応募頂きました皆様に心より御礼申し上げます。

今回は第 54 回大会(日本大学 生産工学部, 平成 25 年 6 月 1 日 (土), 2 日 (日)開催)となります。次回も多数ご応募頂きますようお願いしております。

以上

### 【一般社団法人日本人間工学会優秀研究発表奨励賞の概要】

この賞の目的は人間工学研究の発展と、安心・安全な社会の実現に寄与する次世代の人間工学研究者の育成にあります。本賞の受賞対象者は以下のように規定されています。

- 1 日本人間工学会会員であること
- 2 当該年度の大会論文の筆頭著者で発表を行った者であること
- 3 当該年度の大会終了時点で 26 歳未満であること
- 4 本賞の受賞経験を有しないこと

本賞の審査は 2 段階で行われます。1 次審査では研究発表予稿について 2 名の審査者が審査を行い、上位 10 名程度を受賞候補者として選出します。2 次審査では、受賞候補者が年次大会時に行う研究発表について 1 次審査とは別の審査者 2 名が審査します。つまり 4 名の審査者により審査が行われます。1 次審査と 2 次審査の審査結果を合計し、最も合計得点の高い方が最優秀賞、以下合計得点の高い順に最大 4 名の方が優秀賞となります。